

2月1日 県広報コンクール 7年連続グランプリ受賞

(株)熊本日日新聞社本社で第62回熊本県広報コンクールの表彰式が行われ、広報きくちが7年連続でグランプリ(熊日賞)を受賞。「美しいデザイン、動きがある写真、取材による写真や文章に説得力がある」と講評をいただきました。



市民の皆さんの活躍とご協力が今回の結果につながりました。今後
もまちの情報と魅力を発信し続けます

2月6日 菊之池校区区長OB会「笹の会」 友好都市龍郷町を訪問

菊之池校区区長OB会の一つである「笹の会」が、本市の友好都市である龍郷町を訪問。菊之池校区が西郷南洲翁祖先発祥の地、七城町西郷地区と隣接することから現地研修を企画。市ホームページにレポートを掲載しています。



大島紬の歴史やハブの生態、対処法などについて学んだほか、「志塾・西郷塾」の皆さんとの交流を深めました

2月7日 熊本県男女共同参画推進事業者表彰 男女共同参画の職場づくりを推進

(株)ともづなりハサースビス(富来^{とみき}代表取締役)が、熊本県男女共同参画推進事業者表彰の「職場づくり部門」を受賞。この賞は、県が男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる県内事業者を表彰するものです。



表彰状を受け取る富来さん^{とみき}。休みやすい風土作りや、育児休業からスムーズに職場復帰できる職場づくりに取り組んでいます

1月19日 倉敷紡績株式会社 自社製タオルハンカチを寄贈

森北工業団地内に立地している倉敷紡績(株)が、地域貢献と地域活性化を目的に、市内すべての保育所・幼稚園に抗菌・抗ウイルス加工タオルハンカチを寄贈。3回目となる今年は、福本保育園で贈呈式を行いました。



タオルハンカチを持って記念撮影する園児たちと倉敷紡績(株)の社員の皆さん

2月2日 日本の名湯百選、菊池温泉 湯中運動で健康寿命を延ばそう

温泉療法や湯中運動の世界的権威であるヨハネス・ナウマン教授による講演会が望月旅館で行われました。湯中運動の効果やトレーニング方法が紹介され、健康運動療法士の渡邊ゆかりさんによる湯中運動実践講座も行われました。



講演を行うナウマン教授(中央)と、研究に基づいた湯中運動の有効性について熱心に聞き入る参加者

2月7日 竜門ダムおなか探検スペシャル ダムを身近に感じよう

ダムを身近に感じ、親しみを持ってもらうことを目的に、国土交通省菊池川河川事務所竜門ダム管理支所が竜門ダムで開催。普段とは別の放流口からの放流や、ダム内部の見学などが行われ、県内外から20人が参加しました。



貴重な放流の瞬間を目にした参加者は、歓声を上げながら写真撮影を楽しんでいました

2月13日 市適応指導教室交流会 乗馬を通して児童生徒が交流

市内各適応指導教室に通う児童生徒を対象に、コミュニケーション能力の育成や人と関わる喜びを体験させることを目的に実施。児童生徒と指導員ら34人が民泊施設星乃里で乗馬や馬への餌やりを行い、交流を深めました。



参加した生徒は「前回の交流会で友達になった、違う中学校に通う友達と一緒に乗馬を楽しめた。また参加したい」と笑顔で話しました

2月20日 「城山の日」事前作業 植樹式を前にボランティア活動

菊池市建設業協会、菊池市造園業組合、NPO法人菊池公園歴史の森が、菊池公園で植樹用の穴を掘りました。「城山の日」の植樹式の事前準備として行ったものです。皆さんの協力により菊池公園一帯がきれいに整備されています。



菊池公園の観月楼展望所近くの斜面で実施。22人で作業を行いました

2月21日 市内女子高生防犯・交通安全運動 KCGの3年間の活動に感謝状

市内の女子高生(菊池高、菊池女子高、菊池農業高)30人で構成するボランティア団体・KCGの卒業生18人に、市防犯協会と菊池警察署が感謝状を贈呈しました。同団体は防犯活動や交通安全の街頭啓発などに参加しています。



「防犯・交通安全活動に携われたことに感謝しています。学んだことを今後に生かしていきたい」と語る岩根玲佳さん(菊池女子高3年)

2月12日 チアダンス世界大会 世界大会への出場を報告

北村有花さん(富の原台、九州学院中3年)がチアダンスの世界大会「ミスダンスドリルチームインターナショナル inUSA2019」への出場の報告のため、市役所を訪問しました。小学2年の時から始めたチアダンスで世界へ挑戦します。



「内気な性格だったが、チアダンスをはじめてから自分をアピールできるようになった。将来は自分のチームを持ちたい」と語る北村さん

2月17日 菊池市景観まちづくりシンポジウム 「癒しの里」きくちの景観を考える

自然景観の保護・形成の推進を目的に開催。「第4回身近な風景自慢フォトコンテスト」の表彰式や作品展示、「ガーデニングコンテスト2018」の作品展示のほか、景観マイスターの活動報告も行われました。



1_基調講演を行う養茂壽太郎さん(東京農業大学名誉教授)。2_パネルディスカッションで多くの意見を交わす参加者の皆さん

2月20日・21日 菊池南中学校「立志式の頃」 大人への自覚を胸に

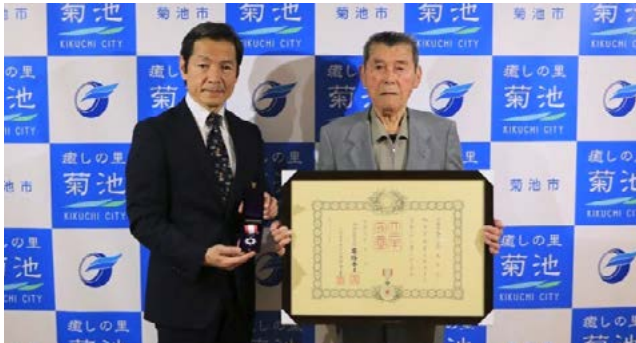
菊池南中学校で、「立志式の頃」の講話と史跡巡りが行われ、2年生153人が参加しました。初日は元教育長の田中忠彦さん(片角)が「菊池一族物語」をテーマに講話。翌日は市内の史跡を歩きながら地域の歴史を学びました。



参加した池野翔さん(菊池南中2年)は「きついことをやり遂げることが目標に、今回の学びを4月からの生活に役立てたい」と語りました

2月22日 秋の叙勲 市政の発展のために尽力

高木正臣さん（北住吉）が旭日単光章を受章し、報告のため市役所を訪れました。高木さんは5期20年にわたり旧泗水町の町議会議員を務め、昭和54年から昭和58年までは副議長として議会の円滑な運営に貢献しました。



現在88歳の高木さんは「ひ孫とお酒が今の元気の源。叙勲をいただきありがとうございます」と米寿と受賞の二つの喜びを語りました

2月22日 菊池米の良質米づくり技術研修会 遠藤五一さんを招き研修会を実施

おいしいコメ作りの匠であり、平成27年度から市の水稻栽培技術指導員でもある遠藤五一さんを講師に研修会を実施。遠藤さんの指導により、菊池米は「米・食味分析鑑定コンクール」で平成27年から3年連続金賞を受賞しています。



1_講演する遠藤さん 2_水稻施肥早見表や農事気象予測を用いた説明、病虫害防除についての話に、熱心に聞き入る参加者

2月23日・24日 福岡・熊本7大学合同ボート競技合宿 菊池から世界に羽ばたけ

福岡、熊本の7大学のボート部による合同合宿が斑蛇口湖ボート場で初めて開催され、約100人が参加しました。2019年ボート競技日本代表オリンピック中野紘志選手も参加し、学生と合同練習やトークセッションを行いました。



参加した学生は「他大学やオリンピック選手と一緒に練習する機会がめったにないので、とても刺激になる。成長したい」と語りました

2月21日 熊大・九大社会保障法合同演習報告会 大学生が市へ施策を提言

熊大・九州大の社会保障法を学ぶ学生50人が、本市の社会保障政策について政策を立案し、リバーサイドパークでプレゼンテーションを行いました。市の現状や課題を分析し、若者、よそ者視点でのユニークな提案が出されました。



「高齢者雇用」「子育て支援」「30年後の菊池市を見据えたまちづくり」など9つの提言が行われ、本市の市政運営のヒントになりました

2月22日 第18回地域特産物マイスター 中山繁雄さんがマイスターに認定

東京都港区で行われた認定式で中山繁雄さん（伊坂）が地域特産物マイスターに認定されました。地域特産物の生産・加工の能力や技術があり、産地育成を支援する意欲を持つ人を技術アドバイザーとして認定するものです。



今後、マイスターとして茶の栽培・加工技術、新商品の開発・販売およびブランド化といった分野を中心に産地育成を支援します

2月22日 短歌・俳句に親しむ 第13回万句のふるさと菊池表彰式

第21代菊池重朝公が行ったとされる「菊池万句」にちなみ、市教育委員会が毎年行っている「万句のふるさと菊池」の表彰式を七城公民館で実施。入選者のうち最優秀賞の児童生徒に表彰状と記念品が贈られました。



県内や姉妹・友好都市などから、俳句8,844句、短歌1,557首、計10,401の作品が寄せられました



1～3月 菊池さくら千年プロジェクト

植樹の輪が広がっています！日本一の桜の里づくり

「菊池さくら千年プロジェクト」の一環として、市内5カ所で桜の植樹を行いました。1月27日に亘区・金比羅神社南斜面に20本（河津桜）、2月24日に旭志川下道路敷に14本（神代曙）、3月2日・3日に菊池公園内に100本（河津桜80本、神代曙20本）、3月17日に国道387号道路敷斜面に18本（陽光11本、小松乙女7本）の計152本を植樹。参加者は「将来、自分たちが植えた桜が大きくなって花を咲かせるのが楽しみ」と話しました。この植樹は日本一の桜の里を目指し行われており今年で6年目。河津桜の苗は、佐々耕三さん（中原出身、株）パシフィック湘南代表取締役社長）から寄贈されたものです。



東福寺周辺整備委員会・亘区・巨築地子供会(1月27日)



茂藤里区植樹会(3月17日)



旭志川下植樹会(2月24日)



菊池高校野球部員も参加



菊池高校野球部・NPO法人菊池公園歴史の森(3月2日)



桜苗を寄贈した佐々さん[㊤]と江頭実市長[㊦]



佐々さんと関係者(3月3日)